

教 科		商 業		科 目	簿記②
単位数	4単位	開講年次		3	使用教材 標準検定簿記問題集2級 完全段階式 全商簿記実務検定模擬問題集2級
分類・帯	情報・ビジネス系列・R1 R2				
科目説明	2年次に学習した簿記①を発展させたものです。				
選択生徒像	強く資格取得を希望している生徒。 資格取得を通じて、自分の実力を高めていく意志が強い生徒。				
選択条件	2年次に「簿記①」を履修していること。 なおかつ検定試験の3級に合格しているか、同等の実力を有していること。				
備 考	検定受験料1,300円が必要です。検定受験日は休日です。 電卓が必要になります。				
目 標	企業において日常の取引を仕訳し、勘定記入を経て、決算に至る簿記の基本的な仕組みについて理解させる。				
評価方法	知識・技能:思考・判断・表現:主体的に学習に取り組む態度=4:3:3 ノート 問題集定期考査 授業態度および取り組み状況 課題提出状況 出席状況				
学期	月	単元		指導内容	
前 期	4	24決算整理		収益・費用の繰り延べと見越しについて、記帳法とその考え方を理解させる。	
	5	26特殊な商品売買の取引		特殊な販売の仕訳を理解させその仕組みを正しく理解させる。	
	6	27特殊な手形の取引		一般社会における手形の役割を理解させ、その記帳手続について理解させる。	
		前期中間考査			
	7	28仕訳帳の分割		特殊仕訳帳の仕組みを理解させ、その記帳を習得させる。	
	9	28仕訳帳の分割		特殊仕訳帳の仕入帳・売上帳について記帳方法を習得させる。	
前期期末考査					
後 期	10	295伝票による記帳		5伝票制の特徴を理解させ記帳方法を理解させる。	
	11	30本支店の取引		本支店間、支店相互間の取引と記帳を理解させる。	
		後期中間考査			
	12	31本支店の財務諸表の合併		合併のP/L、B/SIについて理解させる。	
	1	問題演習		問題集での取り組み	
	2	問題演習 学年末考査		問題集での取り組み	
3					